

(4) 算数の授業における小・中学校教員によるTT指導

算数の授業において中学校の数学担当教員から、今学んでいる学習が中学校でどのように系統的・発展的につながっていくかの指導をとおして中学校の学習に対する意識の高揚を図る。

<日時>平成26年12月8日(月)第5校時 <場所>日立木小学校6年教室  
 <授業者> T1 目黒 和恵 T2 紺野 成

授業テーマ	自分の考えを表現したり，考えを交流する場を設けたりすることを通して，数学的な見方や考え方を高めていく授業
-------	--

1 単元名 比例をくわしく調べよう(比例と反比例)

2 単元設定の理由  
 ～略～

本単元の指導にあたっては，日常生活の中の比例の関係が成り立っている事象を取り扱うことで児童一人一人が課題を明確にとらえられるようにしたい。既習の式，表，グラフによる数学的な表現で自分の考えを表現させ，多様な考えを比較検討していく中で，効率の良い比例の考えのよさを実感できるようにする。また，説明するだけではなく書く活動を取り入れることで，数学的な思考力・判断力・表現力を育てていきたい。本時では，中学校の先生をT2に迎えることで，小学校から中学校への系統性を意識して授業を構成したい。



3 単元の見込み ～略～

～略～

8 指導過程

学習活動・内容	時間	○ 教師の支援 ◎	
		手立て	※ 評価
		T1 (目黒)	T2 (紺野)
1 問題場面をつかむ。	5	○ T2の先生を紹介する。 ○ 児童会の取り組みで集めているペットボトルのキャップを実際に提示し，関心を持たせる。	○ 自己紹介をする。
4 自力解決をする。	10	○ 表をもとにして，自分の考えを式や矢印を使って発表ボードに書かせる。その際，考え方の説明は書かないように指示する。	○ 机間巡視を行い，早く終わった児童はさらに別の解決方法を見つけるように声をかける。
		比例の関係にある2つの数量を見つけ，比例の性質を問題の解決に用いることができる。(発表ボード) 図	
5 考えを交流し合う。 (1) ペアで話し合う。 (2) 全体で話し合う。	15	◎ 提示した式などを見て，となりの友だちがどのように考えたかを予想しノートに書かせる。 ◎ 発表の際，友だちの考えを説明させる。 ○ 比例の性質も発表させることで，それぞれの考えの共通点や相違点に気づかせる。	○ 出てきた意見(発表ボード)を整理しながら板書する。
		比例の性質を理解している。(ノート・発表) 図	
6 学習のまとめをする。 比例の関係を使うと，数えなくてもおよその個数を取り出すことができる。	5	○ 比例の関係を利用すればよいことを確認し，自分の言葉でノートにまとめさせる。 ○ キャップの形状等で重さに誤差があることに触れる。	◎ 中学校での比例の学習例を伝えることで，意欲の向上を図る。
7 適用問題を解く。	5	○ 机間巡視をし，支援を行う。	◎ 数学的な考えを伸ばすような発展問題を用意する。